

本市におけるプラスチックごみ削減に向けた主な取組の進捗状況について（令和元年7月）

1 ペットボトルの削減

(1) マイボトル推奨店の拡大【今年度：新規登録1事業者、15店舗】

協議を重ねてきた結果、新たに株式会社ドトールコーヒー（ドトールコーヒーショップ、エクセルシオールカフェ）が、マイボトル推奨店舗に登録することとなった。

（平成30年度末15事業者、242店舗→16事業者、257店舗）

(2) 市民・観光客等への情報提供

- ・ マイボトルの利用機会を拡大するため、京の水飲みスポット（上下水道局）、公園（建設局）、区役所等の公共施設で給水できるスポットを網羅して情報提供する。
- ・ 旅館・ホテルや観光地等にQRコードを設置し、マイボトル推進店舗、給水スポット、食べ残しゼロ推進店舗（飲食店）、2R行動ガイド「しまつのこころ得」等へのアクセスを強化する。

(3) 先進的取組の実施に向けた検討・調整

別添1参照

2 レジ袋の削減

(1) 事業者との協働

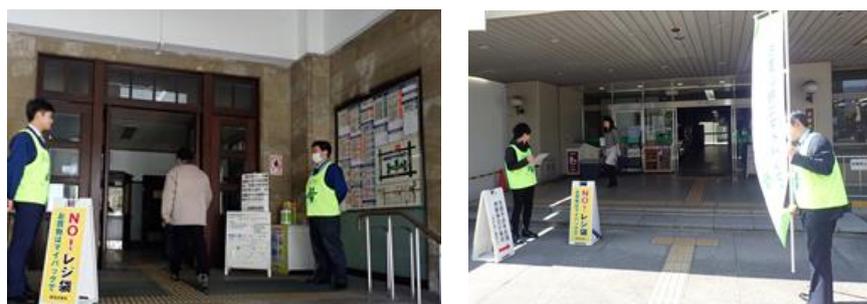
- ・ レジ袋の削減に係る食品小売店やコンビニ等の店頭での啓発キャンペーンを実施する。



- ・ 東京オリンピックを踏まえ、環境大臣がレジ袋有料化義務化を表明したことを踏まえ、法制化に向けた国の動きを注視しつつ、市民及び事業者が円滑にレジ袋有料化に対応できるよう、小売業界と協働した取組を進めていく。

(2) 市職員による率先垂範

- ・ 市役所や各区役所・支所の庁舎出入口において、昼休みや出勤時に、レジ袋の受取辞退等の周知・啓発を行うとともに、レジ袋の使用状況をモニタリング調査している。



- ・ 上記に加え、市職員約 1,100 人を対象としたアンケート調査を実施し、レジ袋の受取辞退状況等を把握するとともに、その調査結果を市職員に対して周知し、啓発及び意識・行動の変化の追跡を実施している。
- ・ 使い捨てプラスチックの使用抑制等に関する記事を盛り込んだ市職員向けメールマガジン「さすてな通信」を毎月配信している。(別添 2 参照)

3 周知・啓発の徹底

- ・ 市民や事業者向けのチラシ、2R 行動ガイド「しまつのこころ得（プラ編）」(資料 4-2 参照) 等の啓発物を作成し、イベントや地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」等で活用する。

NEWS RELEASE



2019年5月23日

東大和市

日本財団

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

東大和市清掃事業協同組合

東大和市×日本財団×セブン-イレブン・ジャパン×東大和市清掃事業協同組合 東大和市における『ペットボトル回収』を促進！

～産官民が連携した新たな回収スキームを実現～

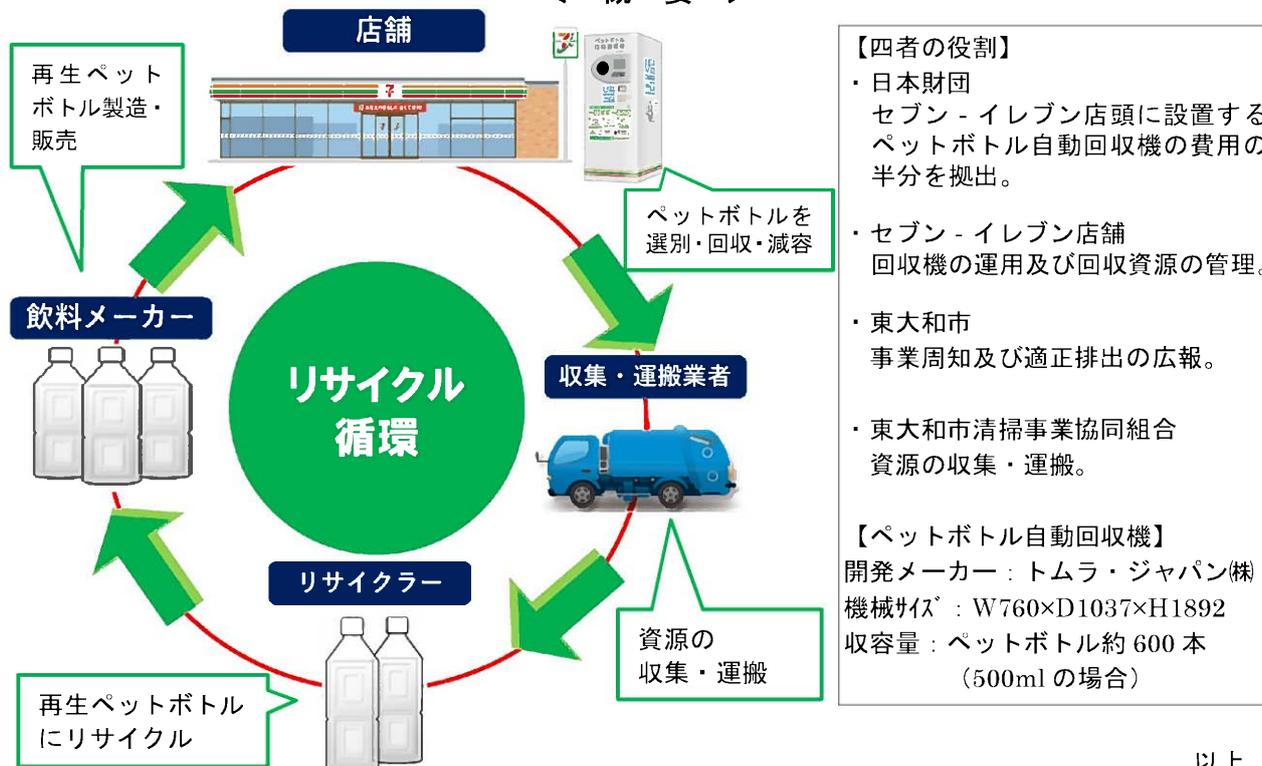
東大和市（市長：尾崎 保夫）と日本財団（東京都港区、会長：笹川 陽平）、株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）、及び東大和市清掃事業協同組合（東京都東大和市、代表理事：加藤 宣行）、は、相互の連携を強化し、“豊かで持続可能な社会”推進の一環として、2019年6月4日（火）より、東大和市内のセブン-イレブン全店（4月末現在：15店舗）に“Bottle to Bottle”のリサイクル促進を目的とした『ペットボトル自動回収機』を順次設置いたします。

セブン-イレブンでは、2015年より『ペットボトル自動回収機』の設置を開始し、現在東京都と埼玉県の約300店舗（2019年4月末）で稼働しております。今回、様々なステークホルダーと共に海洋ごみ対策を推進する日本財団とセブン-イレブンが連携し、更に、本取り組みの趣旨に賛同する東大和市及び東大和市清掃事業協同組合の協力のもと、産官民が連携した新たな回収スキームが実現しました。

四者は、地域社会と一体になったサーキュラーエコノミー活動に取り組み、“循環型社会”の実現と海洋ごみの削減を推進してまいります。

なお、今回の取り組みと併せてセブン-イレブンと日本財団は、地域清掃等の海洋ごみ対策にも共同で取り組んでまいります。

< 概要 >



さすてな通信 

vol.1 (2019年6月)

ごみ減量推進課



泳ぐ！
ペットボトル！！

今月のテーマ

ペットボトルの悲劇

～昔のようにには買えないの。

だって、ごみが増えるから。～

皆さんは今、自販機やコンビニで、飲み物を買おうとしています。

ペットボトル飲料を買った人、なぜそれを選んだのでしょうか？

飲みたい飲料がたまたまペットボトルに入っていただけかもしれません。

特にあまりコーヒーや炭酸飲料を飲まない人にとっては、バリエーションが多いペットボトル飲料の方が魅力的に見えたりします。

無理に飲み干す必要もないので、ペットボトル飲料はかえって節約・エコではないの？という声も聞こえてきそう・・・。

日本はプラスチック廃棄大国～いつかペットボトルが泳ぎだすかも

日本は、人口1人当たりのプラスチック製容器包装の廃棄量がアメリカに次いで**世界第2位**。ペットボトルを1箇月で**19億本も消費**しています。積み重ねると、地球から月までの距離と同じ**38万km**。**京都市民一人当たり**に換算すれば、**年間180本もペットボトル飲料を飲んでいる**ことになります。

日本はきちんと適正に処理しているので問題ないと思いがちですが、ポイ捨て等が原因で**日本からも海へ年間2～6万トンものプラスチックごみが流れ出ている**と推計されているので、海洋プラスチックの問題は他人ごとではありません。

また、これまでのように、日本で処理しきれないプラスチックごみを海外輸出に頼ることもできなくなります。

そのため、私たちができる身近で効果的な取組は、使い捨てプラスチックの使用を減らすこと。具体的には、**ペットボトル飲料の購入を控える**、**マイバックをいつも携帯してレジ袋を断る**、**カフェではマイボトルやマグカップを使いますと注文時にすばやく言う**・・・などなど、できる取組から始めていただいて、使い捨てプラスチックに頼りすぎない生活にシフトしていきましょう。



ごみを小さく、
'ごみ'です。